

# 豊田市内企業のための これからの時代における 人材確保・育成力 強化セミナー

今年度の  
事例報告も実施



労働人口が減少する中、中小企業においても人材不足は大きな経営課題です。採用活動の見直しはもちろん、従業員の育成支援、定着率向上も視野に、長期的に「人が集まり、活躍できる」組織への変革が必要となります。本セミナーでは、今年度「とよた人材確保・育成強化プロジェクト」に参加された市内企業の事例も参考に各企業の課題や悩みの解決の糸口を見つけていきます。令和6年度の同プロジェクトへの参加を検討されたい企業の方も、ぜひご参加ください。

2024.2.15 **木**

14:00 - 16:00

参加費無料・定員30名

## 会場

豊田商工会議所

(住所: 愛知県豊田市小坂本町1丁目25)

## 対象

- 豊田市内企業・団体の経営者や人事担当者の方
- 豊田市内の支援機関の方

## 当日コンテンツ

- 本事業の目的や背景の紹介(人材にまつわる市場動向や、中小企業が抱える課題や悩みなど)
- 「とよた人材確保・育成強化プロジェクト」に参加した市内企業の取り組み事例の紹介  
コーディネイト機関による人材確保・育成にまつわるコンサルティング・相談内容の概要  
新卒・中途等の採用活動にまつわる取り組み(求人内容やプロセスの見直しや、インターンシップへのチャレンジなど)  
副業人材等を活用したプロジェクト型業務委託の取り組み事例
- 人材確保・育成における課題や悩みごとに分かれたテーマ別の意見交換

人材にまつわる以下のような課題・悩みをお持ちの企業様におススメです



### 採用活動が 上手くいっていない

大手企業等と比較すると認知度がなく、予算に限られるなかで、求人サイトに掲載しているだけではエントリーやマッチングまで繋がりません。2023年11月の有効求人倍率は1.28倍という上昇傾向の中で、中小企業として、どんな試行錯誤ができるかを考える必要性があります。

### 人事または経営者単独で 奮闘しているため、 知見や経験が足りない

多くの中小企業では、経営者および、総務や経理、他部門のスタッフが兼任で採用・人事担当をしています。一方で、採用市場は急激に変化しており、常に知見の蓄積や試行錯誤が必要な業務でもあるため、企業の将来を考えると向き合うべき課題です。

### 多様な人材の活用や 働き方に関心があり、 一歩踏み出したい

企業が継続していくためには新規事業開発や既存事業の推進・改善に取組み続けていく必要がありますが、労働人口減少が避けられない社会では非常に困難です。そんな中、副業兼業や女性活躍、外国人雇用など多様な人材活用が注目されています。

## お申込み方法

右記QRコード、または以下のURLから申込お願いいたします。

<https://forms.gle/2hzAFVWGWNT29aTi7A>

▶ 運営事務局 (NPO法人G-net: 058-263-2162/info@furusatokengyo.jp)

※申し込み確認次第、記入いただいたメールアドレスへ当日のご案内をさせていただきますので、必ずご記入ください。

申込〆切: 2/14(水)



申込フォーム



詳細WEBサイト

# 今年度の取り組み事例

## 1 企業別の個別コンサルティング

人材確保・育成にまつわる課題をテーマにした個別コンサルティングを軸に、各企業の課題や実施したいことに沿って、インターンシップや兼業人材活用などの実践プログラムも活用しながら、1年間担当コーディネーターが伴走しました。

【参加企業(全12社・五十音順)】

アイサク、SS、須藤建設工業、タケミ精工、豊田電気、内藤精肉店、Hannari、藤本建設、碧洋管工、PROTECA、三井屋工業、ユニソン

現状のヒアリング  
経営・人材課題抽出

コーディネーターによる  
個別コンサルティング(5回程度)

(相談テーマ事例)

- ・採用プロセスや媒体の見直し
- ・自社の魅力の洗い出しや可視化
- ・インターンシップなど若者との長期的な接点づくりの見直し
- ・若手や中堅スタッフの育成にまつわる課題抽出と施策検討

以下の②・③の  
実践プログラムにも  
チャレンジ

人材にまつわる課題に  
関する今後の方針検討  
や、改善・ブラッシュアップ

## 2 若手人材採用：インターンシップ等設計・実践

長期的な戦略に基づき、新卒採用等の若手人材の確保や育成力強化を目指す中小企業向けのインターンシップ設計・実践の機会。

基本伴走(7月～)

- ・個別コンサルティング(複数回の打合せ)  
新卒採用・若手人材育成に関する課題や困り事の洗い出し  
インターンシップ等の設計相談
- ・実践機会に伴うインターンシップ設計セミナー参加

■ 中小企業がインターンシップ等を活用するメリット

- ・自社の認知度の向上
- ・ミスマッチの防止と定着促進
- ・人材育成のノウハウ蓄積

【大学生対象】地域連携型インターンシップ(とよたシゴトリップ)

2週間(9/4～11)で、自治体と市内企業どちらも訪問・経験することができる事前事後研修付の取材型インターンシップ

事前研修(1日)

市役所訪問(3日間)

市内企業訪問  
(1日1社・5日間)

事後研修(1日)



【参加企業(8社・五十音順)】  
アイサク、SS、須藤建設工業、  
タケミ精工、豊田電気、内藤精肉店  
藤本建設、三井屋工業

【参加者】大学生21名



【小中高生対象】1日職場見学会

地域や子どもたちへ職場を開放することで、若者に向けた魅力発信・訴求方法の試行錯誤や、地域内での企業価値を高めるためのプログラム



- 10:00 企業・参加者の自己紹介
- 10:30 取り組み内容や業務内容のお話
- 11:00 工事疑似体験や道具体験
- 12:00 昼食
- 13:00 働く機械への乗車体験  
水道管タイムカプセル
- 15:00 本日のまとめ/解散

【参加企業】碧洋管工

【参加者】  
小学生6名・中学生3名・高校生1名



## 3 外部人材活用

企業課題に沿ったプロジェクトを設計。期間限定で外部人材とマッチング・実践の機会。2つのプログラムから、どちらか一方を選択し、適切な外部人材活用を推進。

### トヨタ先進・PT☆プロボノ

トヨタ自動車(株)の社員を期間限定で迎え、経営革新に挑む4ヶ月間の期間限定の越境研修型プログラム



ポイント

- ・専門知識やスキルよりも、3人1組のチームでともに考え動くことができる人材に期待
- ・週4時間をベースに活動時間が定められており、安定した業務時間を確保することが可能
- ・大手企業が持つ多様な仕組みやノウハウの提供が期待できる

▼今年度の事例

- ・Hannari(鍼灸院、サロン経営)  
バストアップ専門店の顧客開拓、広報アプローチ



### ふるさと兼業

全国の幅広い層の外部人材候補へアプローチすることができるWEBサイト「ふるさと兼業」を活用した実践プログラム



ポイント

- ・企業課題にそったプロジェクトに対し、適切なスキルや技術を持った人材を活用したい
- ・都市部も含め幅広く全国から、自社の課題解決や事業内容に共感する人材とマッチング
- ・1～3名まで、プロジェクトに沿った人数を募集できる

▼今年度の事例

- ・内藤精肉店(食肉処理及び販売業)  
精肉店の強みを活かした売り上げアップ施策検討
- ・ユニソン(建材・エクステリア、建設、住宅)  
未来の暮らしに寄り添う新製品企画・設計デザイン



お問い合わせ

令和5年度 人材確保力強化支援業務委託「とよた人材確保・育成強化プロジェクト」  
【主催】豊田市(担当：産業部産業労働課) 【委託先】NPO法人G-net(担当：南田・棚瀬)  
〒500-8844 岐阜県岐阜市吉野町6-2 プラザビル2階  
電話：058-263-2162 / FAX：058-263-2164 メール：info@furusatokengyo.jp



挑戦の伴走者に、熱意のつなぎ役に。

NPO法人 **G-net**

※本事業は豊田商工会議所、豊田信用金庫との包括連携協定事業として実施しています。